16



JAN 2023

中央区ボランティア・市民活動センターだより

●●●ふくしを「知りたい!学びたい!」ご相談ください ●●●

中央区ボランティア・市民活動センターでは、学校・企業等のみなさまの福祉に関する学びをお手伝いしています。 学習のねらいやご希望をうかがいながら、一緒にプログラムを考えます。ぜひお気軽にご相談ください。

事例

小学4年生の障がいに関する学習

総合学習で障がいをテーマに取り上げている。障がいのある 方への適切な接し方や、日頃から意識できることなどを学び たい。(対象:小学4年生)

プログラム例

- ① いろいろな障がいを知る
- ② アイマスク体験
- ③ 聞こえ方の体験
- ④ 車いす体験
- ⑤ 視覚障がい・聴覚障がい・肢体不自由のゲストティー チャーからお話を聞く
- ⑥ 障がい者を支える専門職からお話を聞く
- ⑦ これまでの学びを活かして、障がいがあってもなくて も楽しめる遊びを考え、当事者と一緒にやってみる

事例

02 / 小学5年生の防災に関する学習

防災を学習中。災害を自分ごととして捉え、高齢者や障がい者 にやさしいハザードマップを作りたい。(対象:小学5年生)

プログラム例

- ① 防災教育教材で被災時のリアルな状況を考える
- ② 防災士から命を守るための行動を教わる
- ③ 被災時を想定し、災害弱者への情報伝達や誘導・移動の補助を体験する

ご担当の先生の声

この学びを通して、子どもたちのどのような姿を目指すのか。私たち教的の願いを丁寧にヒアリングしてくださり、また打合せで意見を交わしした。様々な体験等を通して「障がい」や「福祉」を身近に感じ、理解ををいる大切な機会となりました。子どもたちの中に、"障がい当事者を支えたい""学んだことを発信したい"など、これからの行動につながる熱の高まが確かにみられました。貴重な学びの場をありがとうございました。



ご相談 → 打合せ → プログラム作成 → 実施までお時間をいただきます。お早めのご相談をお待ちしています。 → お問合せ・ご相談 → 中央区ボランティア・市民活動センター 🚳 025 - 210 - 8730 (平日 8:30~17:15)

そらいろ子ども - Vol.5-**全室** りのレシピ紹介

そらいろ子ども食堂は、 新潟青陵大学と新潟県立大学の 学生が運営しています。





みなさんこんにちは!そらいろ子ども食堂です。 私たちそらいろ子ども食堂はコロナ禍になって以来、 会食型の開催ができておらず、食材配布を実施してきま した。今回ご紹介するツナとコーンのサラダは、12月末 に約3年ぶりに行った会食型開催で作ったレシピです! 袋で混ぜ合わせることで、お子さんでもお手伝いするこ

とができます。ぜひご家庭で作ってみてくださいね♪

そらいろ子ども食堂は今後、 会食型開催を定期的に実施し ていく予定です。開催が決まっ た際はぜひお越しください!



ツナとコーンのサラダ

材料(約4人前)

- ■キャベツ 1/2 玉
- ■きゅうり 1/2本
- ■ツナ 70g
- ■マヨネーズ 大さじ1
- ■コーン 60g
- ■塩こしょう

作り方

- ①キャベツは干切り、きゅうりは輪切りにする。②袋にキャベツ、きゅうり、ツナ、コーンを入れ 和える
- ③マヨネーズと塩こしょうで味を調える。

地域の企業・団体・学校と、家族の思い出作りに取り組む

幸せ空間親子でシネマ@迎賓館 TOKIWA

コロナ禍でいろいろな制限がある日常。天気が悪く子どもが外で遊べない日が多い新潟の冬。そんな中でも"家族の楽しい思い出を作ってほしい"との思いで、中央区ボランティア・市民活動センターでは、令和2年から映画上映会「幸せ空間親子でシネマ@迎賓館TOKIWA」を開催しています。

結婚式場で映画を観るこのイベントは、立ち上げから現在までたくさんの企業・団体・学校のみなさまに支えられてきました。それぞれのご協力の形の中には、"非日常的な体験を通して家族の関係を深めてもらいたい" "ボランティアに挑戦することで助け合いの大切さに気づいてもらえたら…" "ちょっとした気持ちの変化もお土産になるといいな" そんな願いがこもっています。

年に一度、様々な人たちと力を合わせて作る、子どもたちと家族のためのイベント。これからもたくさんの方にご参加いただけたらうれしいです。

新潟・市民映画館シネ・ウインド スマホや自宅で映画を見ることが多くなっている昨今、誰かわからない人たちと同じ会場で映画を見ることで、ドキドキ感や雰囲気を共有できる良い機会だと思います。 新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部 ボランティアセンター

大学生と子どもボランティアが一緒に活動することで、未来につながる素晴らしい経験、機会に携わらせていただき感謝申し上げます。







◀ 2022.12.11 (sun) ▮ イベントの様子はこちら

つなぎ続けるあかり

NIIGATA 光のページェント

駅南の夜を美しく照らす「NIIGATA 光のページェント」。今年も 12/2(金)に点灯式が行われ、けやき通りの約 200 本の木に、16 万球のイルミネーションが灯りました。1988 年から 34 年に渡り、形を変えて続いてきた"新潟の冬の風物詩"が、存続の危機にあったことをご存知でしょうか。イベントの裏側を一緒に支えてきたボランティアの池端文さんは、「関わってみないとわからないことがたくさんあった。ページェントに関する活動を通して、物事の裏側を考えるようになった。」と取り組みを振り返ります。「私にできることはほんの小さなお手伝いだったけど、毎年見てきたイルミネーションが今年は少し違って見えるかも。」と笑顔を見せてくれました。たくさんの方の思いと支えによって灯された光は、今日も駅南を通る人たちの気持ちに寄り添い、温かく照らし続けています。



今年も雪にそなえるために…

11/5(土)中央区社会福祉協議会交流スペースにて、ボランティアきっかけづくり講座「地域の困りごとを考える〜雪かきボランティア編〜」を開催しました。TUNAGU★DESIGN平田春樹氏、NPO法人中越防災フロンティア(越後雪かき道場)木村浩和氏を講師にお迎えし、地域の雪にまつわる困りごとや安全な雪かきのコツを教わりました。これからの季節に切っても切れない除雪について、じっくり考える時間となりました。

参加者の井狩佑太さんは「この講座を通じて、新潟特有の雪の問題を知りました。地域の困りごとには助け合いが必要なことがわかり、人と人との支え合いの大切さを実感しました。」とお話ししてくださいました。



中央区ボランティア・市民活動センターでは、積雪によって 一人暮らしの高齢者や障がい者等がふだんのくらしに困った とき、家の周りや玄関先の除雪を行うボランティアを募集して います。ぜひ、身近なたすけあいに力を貸してください。

■活動内容:玄関から道路までの道付け等

※ 屋根の雪下ろしや機械による除雪は行いません

■活動範囲:中央区内

ご協力いただける方は、二次元コードから→ 〈ご希望のボランティア〉の項目〈除雪〉に チェックをいれて、ご登録をお願いします。



中央区ボランティア・市民活動センター

〒951-8062

新潟市中央区西堀前通6番町909 Co-C.G.ビル3階

Tel: 025-210-8730 Fax: 025-210-8722 Mail: va-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp

※お車でお越しの際は、市営西堀地下駐車場をご利用ください。駐車券をお渡しします。

[開所時間] 月曜日~金曜日8:30~17:15(土・日・祝、年末年始を除く)

中央区・東区合同 災害ボランティア センター研修会



開催しました! 2022.12.9 (fri)